

# みんなで考え、実行する

## 「鎌ケ谷市行財政改革推進プラン（平成28年度～平成32年度）」

～自律的・主体的で実効性のある行財政改革～

### 平成30年度の実績について

「みんなで考え、実行する 鎌ケ谷市行財政改革推進プラン」平成30年度の実績について、以下のとおり報告します。

#### 1 計画の策定趣旨

少子高齢化・人口減少の進展、地方分権の推進、社会経済状況の変化など市を取り巻く環境が大きく変化していく中で、将来にわたって安定した行政サービスが提供できる体制や仕組みを構築していくために、引き続き、行財政改革に取り組んでいく必要があります。このため、～みんなで考え、実行する～「鎌ケ谷市行財政改革推進プラン」（平成28年度～平成32年度）を策定しました。

#### 2 推進方法

計画の推進にあたっては、職員の目的意識の醸成を図るとともに、職員一丸となって取り組む必要があるため、行財政改革推進室内に設置しているサポートデスクの活用やPDCAサイクルの検証、各取組み項目の関係部署が集まって意見交換を行うコーディネイト会議を実施します。

また、行財政改革のコンセプトとして、前計画の「みんなで考え、実行する行財政改革」を継承するとともに、新たなテーマとして「自律的・主体的で実効性のある行財政改革」を設定し、目標達成に向けて取り組んでいます。

#### 3 計画の柱と取組み項目

計画には、「①歳入増のための取組み」、「②歳出抑制のための取組み」、「③変化に対応できる行財政体質構築のための取組み」の3つの柱を掲げており、それぞれの柱ごとの取組み項目及び計画に掲げた計画期間中（平成28年度から平成32年度）の見込まれる効果額の目標は次のとおりです。

柱	取組み項目	効果額の目標(5年間)
柱①歳入増のための取組み	15の取組み	3億7,023万3千円
柱②歳出抑制のための取組み	20の取組み	3,986万円
柱③変化に対応できる行財政体質構築のための取組み	19の取組み	—
全体	54の取組み	4億1,009万3千円

#### 4 平成30年度における達成状況

##### (1) 数値目標に対する実績

	目標	実績	状況
① 行財政改革効果額	82,813 千円	693,889 千円	達成
② 経常収支比率	95%未満	94.9%	達成 ※
③ 財政調整基金残高	18億円以上	2,521,830 千円	達成
④ 財政健全化判断比率	早期健全化基準未満	早期健全化基準未満	達成

※行財政改革推進プランにおける経常収支比率の数値目標は、減債基金繰入金を経常的な支出である公債費から差し引いた額で算出した経常収支比率を用いることとしています。この数値は、94.9%と目標を達成していますが、実際の経常収支比率は95.9%となっており、今後も健全な財政運営を維持していくため、引き続き注視する必要があります。

##### (2) 行財政改革効果額の詳細

No	柱	取組み項目	目標	実績
2	①	市税の収納率向上	42,911 千円	492,043 千円
3	①	国民健康保険料の収納率向上	10,929 千円	98,000 千円
4	①	保育料の収納率向上	949 千円	11,200 千円
5	①	介護保険料の収納率向上	4,485 千円	15,698 千円
6	①	公共下水道料金の収納率向上	3,085 千円	12,749 千円
7	①	学校給食費の収納率向上	1,392 千円	0 千円
10	①	自動販売機設置事業者の入札	1,869 千円	3,611 千円
12	①	デジタルサイネージの導入	732 千円	2,996 千円
14	①	公共施設の駐車場の有料化	5,501 千円	0 千円
22	②	学校環境整備業務の民間委託化	9,960 千円	4,836 千円
28	②	時間外勤務の抑制	1,000 千円	52,756 千円
合 計			82,813 千円	693,889 千円

##### (3) 財政健全化判断比率の詳細

平成30年度財政健全化判断比率

区分	国が定める 早期健全化基準(%)	鎌ヶ谷市実績(%)
①実質赤字比率	12.53	—(赤字なし)
②連結実質赤字比率	17.53	—(赤字なし)
③実質公債費比率	25.0	2.0
④将来負担比率	350.0	27.1

## 5 計画期間1年間（平成30年度）の数値目標に対する達成状況

計画に掲げた数値目標のうち、「行財政改革効果額」については、平成30年度の実績が計693,889千円で、単年度の目標額である「82,813千円」を上回る結果となりました。

経常収支比率を除く2つの数値目標（財政調整基金残高、財政健全化判断比率）についても、平成30年度は目標を達成している状況です。

区 分		H28	H29	H30	H31	H32	合計
行財政改革 効果額	目標	28,159 千円	64,742 千円	82,813 千円	104,064 千円	130,315 千円	410,093 千円
	実績	228,038 千円	359,048 千円	693,889 千円	—	—	—
	達成 状況	達成	達成	達成	—	—	—
5年間の目標410,093千円に対する達成進捗率		55.6%	143.2%	312.4%	—	—	—

	目標	実績				
		H28	H29	H30	H31	H32
経常収支 比率	95%未満	94.8% (94.8%)	94.3% (94.9%)	94.9% (95.9%)	—	—
	達成状況	達成	達成	達成	—	—
財政調整 基金残高	1,800,000 千円以上	2,649,998 千円	2,219,177 千円	2,521,830 千円	—	—
	達成状況	達成	達成	達成	—	—
財政健全化 判断比率	早期健全化 基準未満	早期健全化 基準未満	早期健全化 基準未満	早期健全化 基準未満	—	—
	達成状況	達成	達成	達成	—	—

※経常収支比率欄の括弧書きの数値は、実際の経常収支比率の値

## 6 計画期間（平成30年度）の取組み結果について（全54項目）

### 《全体評価》

平成30年度における54の取組みに関する全体評価は、次の表のとおりです。

区分	評価区分	取組み項目数	備考
1	終了	2	完了し、終了する
2	廃止	3	計画期間内における検討を終了
3	休止	3	計画期間後の再開を前提に休止
4	縮小	0	規模を縮小
5	改善	1	実施方法等を改善し継続
6	精査・検証	44	実施内容を精査・検証し継続
7	拡充	1	重点的に資源等を配分し規模拡大

①終了とした取組：2項目

柱	取り組み項目名	評価の理由
②	電子入札制度の拡充 (契約管財課)	すべての入札案件において、電子入札への移行が完了したことから、終了する。
③	充実した行政情報の迅速な提供 (広報広聴室)	ホームページのリニューアルが完了したことから、終了する。

②廃止とした取組：3項目

柱	取り組み項目名	評価の理由
①	公共施設の駐車場の有料化 (契約管財課・市民会館)	市営駐車場及び中央地区公共施設駐車場の有料化について検討を行ったところ、採算が取れる見通しがないことから、計画を見直し、駐車場の有料化は実施しないこととした。
②	各種イベントの見直し (企画政策室)	行財政改革推進プランにおけるイベント統合についての検討は終了し、引き続き各部門におけるイベント実施方法の見直しを行うこととした。
③	行革関連庁内報 (企画政策室)	庁内報によらず、様々な形式において、行財政改革情報を周知することとした。

③休止とした取組：3項目

柱	取り組み項目名	評価の理由
②	自動車運転業務の民間委託化 (契約管財課)	自動車運転業務に従事する正規職員が退職するまでの間については、民間委託化は行わないこととした。
②	学習センター等の運営方法の見直し (生涯学習推進課)	行財政改革推進プランの計画期間中においては、中央公民館のみ指定管理者制度を導入することとし、その他については、指定管理者制度の導入(企画政策室担当)で検討することとした。
②	学校環境整備業務の民間委託化 (学校教育課)	令和7年度まで正規職員の退職予定がなく、民間委託化する学校数が増加しないことから、一時休止する。

④改善とした取組：1項目

柱	取組み項目名	評価の理由
③	男女共同参画の推進 (男女共同参画室)	セミナーの実施方法を委託方式から直営方式に転換し、より柔軟なテーマ選定などを行えるよう改善を行った。

⑤拡充とした取組：1項目

柱	取組み項目名	評価の理由
①	企業誘致の推進 (商工振興課)	企業誘致の推進を図るため、プロジェクトマネージャーを配置し、取組内容の拡充を行った。